

100年の森づくりリレーについて

1 目的

全国育樹祭の開催機運を盛り上げるとともに、県民の貴重な財産である森林を世代をつないで守り育てていくことの大切さを啓発する。

2 リレーの概要

県内5地域でそれぞれ、樹齢100年を超えるスギやヒノキの大木を伐採し、地域内の市町村をリレー形式でつないだ後、全国育樹祭会場の揖斐川町まで運ぶ。

(1) 丸太の引き継ぎについて

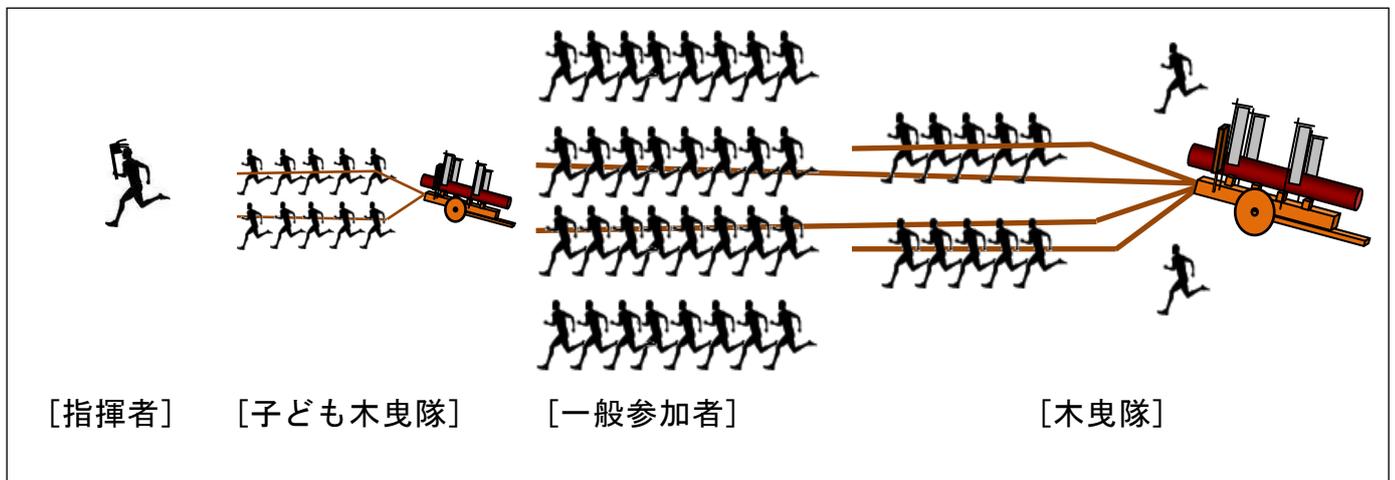
○丸太の木曳き

県が編成した木曳隊と地元住民とが一緒に、引き継ぎ式会場や周辺を曳いて回る。



[丸太、木曳車のイメージ]

※写真はH25年の付知峡山開き祭のもの



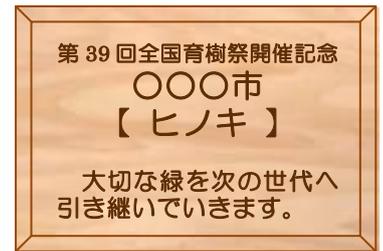
[木曳きのイメージ]

○三世代にわたる森づくり宣言

祖父母、父母、子世代の代表者が、未来の森づくりに対する想いを宣言する。

○「市町村の木」の苗木の受け取り

県が任命した育樹大使が市町村長から苗木と市町村長のメッセージ入り樹名板を受け取る。



[樹名板イメージ]

○「100年の森づくり」に向けたメッセージカードの紹介

地域住民から集めた、100年の森づくりに向けた「木の葉のメッセージカード」による未来の木を披露する。



[木の葉のメッセージカードと未来の木]

(2) 全国育樹祭での活用

- ・丸太は育樹祭会場の施設やアトラクション演出等に活用する。
- ・三世代にわたる森づくり宣言は、小冊子等にまとめて、育樹祭参加者等に配布する。
- ・「市町村の木」の苗木は、育樹祭会場等に植樹する。
- ・メッセージカードは、集約して育樹祭の会場で披露する。

3 リレー期間

5月～9月上旬（約4カ月間）

4 伐採地

県内5ヶ所を予定（中津川市、下呂市、高山市、郡上市、関ヶ原町）



[伐採のイメージ]